

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦

美濃加茂 63

(岐阜) ●

15	—	29
12	—	22
13	—	20
23	—	18
—	—	—

89 京北

○ (東京)

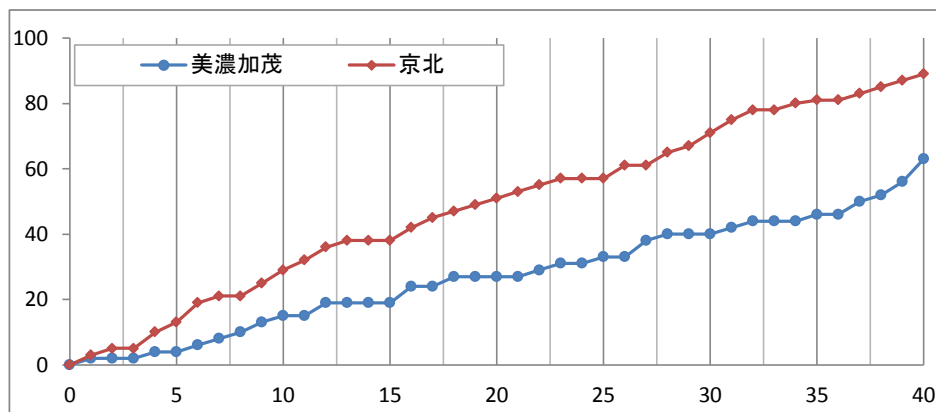
主審 柏原 琢磨

副審 和田 敏文

No. 29b3

日時: 2013年7月29日(月) 12:50

会場: ベっぷアリーナ



美濃加茂

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	木村 祐太 (C)	4	0	1	2	1
5	* 坂之下 涼太	8	1	2	1	2
6	* 武藤 崇正	19	0	7	5	2
7	* 堂藤 幹平	13	1	5	0	0
8	* 海津 隆太	13	0	5	3	1
9	* 瀧瀬 祐一	0	0	0	0	1
10	真鍋 良太	0	0	0	0	1
11	安藤 翔太郎	2	0	1	0	1
12	山田 雄也	4	0	1	2	4
13	沼田 景佑	0	0	0	0	0
14	川守 立真	-	-	-	-	-
15	内藤 脩平	-	-	-	-	-
コーチ	林 龍幸					
合計		63	2	22	13	13

京北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石原 卓 (C)	17	1	6	2	1
5	* 新川 敬大	15	2	4	1	3
6	* 川久保 駿	11	1	4	0	1
7	* 吉川 治耀	10	0	4	2	1
8	吉田 亘	3	0	1	1	0
9	平岩 アンソニーコリン	1	0	0	1	1
10	* 浅見 陸人	22	0	10	2	3
11	小森 敬輔	2	0	1	0	1
12	小林 汰雅	4	0	2	0	1
13	吉田 勇斗	0	0	0	0	1
14	浅香 陽光	4	0	2	0	1
15	盛満 拓郎	0	0	0	0	0
コーチ	田渡 優					
合計		89	4	34	9	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1ピリオド、両者ともにマンツーマンDefで始まる。先制点は京北#6の3ポイント、対する美濃加茂は#7から#6へのハイロープレイで熱戦が始まる。京北がパスカットから速攻、3ポイントなどで連続得点を重ね、2-8となったところで美濃加茂がタイムアウト。美濃加茂が#6のリング下を確実に決めるのに対して、京北は攻撃の手を緩めることなく#10のミドルシュートや#4の個人技が冴えわたるプレイ、#10のインサイドなどで加点していく。美濃加茂が流れをつかめないまま15-29で終了。第2ピリオド、京北は3ポイント、インサイド、スティールからの速攻と確実に得点を重ねる。美濃加茂も#7のバックカットや#6のポストプレイで応酬する。京北はオフェンスリバウンドへの飛び込み、ドリブルドライブから外への合わせなどで着実に得点し主導権をつかむ。美濃加茂も#6のハイポストフラッシュや#7と#8のスクリーンプレイなどで反撃を試みるが、ミドルシュートを決めることができない。27-51の京北がリードして前半を終了。

第3ピリオド、後半もお互いハーフコートマンツーマンで始まる。京北は#10による連続得点で好調な出だしをみせる。美濃加茂は#7の右からのドライブ、相手のミスからの速攻を決めるなどして何とか点差を縮めようと試みるが、京北の激しいDefにことごとくジャンプシュートが入らない苦しい展開。40-71で第3ピリオド終了。第4ピリオド、美濃加茂は#5による右からの1対1、#6のフラッシュからのジャンプシュートなどで追い上げを図る。フリースローも確実に決め、オールコートでDefを試み、流れを引き寄せようとする。京北はマンツーマンから2-3ゾーンへとDefを変え、相手のターンオーバーを誘い確実に速攻を決める。美濃加茂は最後まで粘りのDefをみせたが、終始安定したゲーム展開をみせた京北が63-89で勝利した。

記者	渡邊 和孝 (所属) 大分県バスケットボール協会
----	--------------------------